

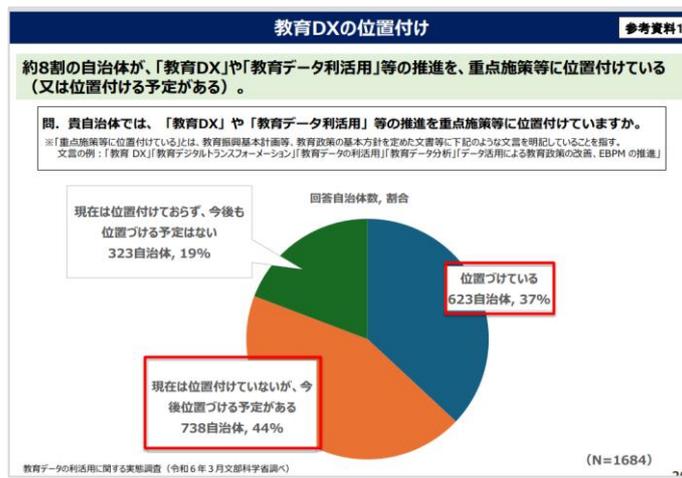
教育現場の課題は多岐にわたります。教育に関する貴重な統計データは、改善へのヒントを秘めています。教育データ利活用で、エビデンスに基づいた教育改革を始めませんか？

教育現場で起きている課題

教育現場では、いじめ、不登校、事故など課題が深刻化し、教職員の負担も増大しています。経験や勘だけでは対応しきれず、エビデンスに基づいた教育が求められています。

文部科学省も教育データ利活用を推進していますが、多くの教育機関ではデータが十分に活用されていません。事故情報やアンケート結果などの貴重な統計データは眠ったままです。

これらのデータを活用することで、課題の根本原因を特定し、効果的な対策を講じることが可能です。教育データ利活用は、子どもたちが安全に学べる環境を創り、教育の質を向上させる重要な手段となります。



効果的な教育データ利活用に向けた推進方策について（令和6年度議論のまとめ）：文部科学省 より抜粋

ご提案

当社は、各種教育データを分析し、課題の可視化から対策までトータルサポート。データに基づいた教育改革を、ぜひ当社にお任せください。

システム導入のメリット

- **課題の早期発見**: 統計データをリアルタイムに分析し、潜在的な課題を早期に発見。
- **客観的な根拠に基づく対策**: データに基づいた客観的な根拠をもとに、効果的な対策を立案・実行。
- **教職員の負担軽減**: データ分析業務を自動化し、教職員の負担を軽減。
- **教育の質の向上**: データに基づいた教育改善サイクルを確立し、教育の質を向上。



教育改善のためのデータ活用



導入事例のご紹介

国立教育政策研究所様



概要

国立教育政策研究所と富士通、富士通Japanは、教育データの集約を目的とした「公教育データ・プラットフォーム」を構築・提供しています。教育分野においては、これまでデータによる現状把握やそれを踏まえた効果検証が不十分ではない状況にありましたが、本プラットフォームにて、教育分野の調査データや研究成果・事例等を集約することで、教育課題の発見やエビデンスに基づいた政策立案、より効率的な教育実践を支援しています。



教育DX推進の要：公教育データ・プラットフォームの構築・運用事例と今後の展望

弊社の教育データ利活用に関する取り組みは、官公庁・教育委員会からも高い評価をいただいております、すでに導入実績がございます。

もっとできる！ICTシステム活用の可能性

不登校対策の鍵を握る情報共有システムのご提案

小中学校の不登校が増加の一途。要因は様々で個別対応が重要です。ICTを活用した情報共有システムで、**不登校対策を強化**しませんか？



AI活用による業務効率化

事務作業の自動化からデータ分析まで、**AIが教職員の負担を軽減し、生徒に向き合う時間を創出**します。業務効率化で、より質の高い教育を実現しませんか？



専門コンサルタントによる業務改善提案

教育現場の課題を熟知した専門コンサルタントが、**貴委員会の状況を分析し、最適な業務改善プランをご提案**します。組織全体のパフォーマンス向上を支援します。



教育DX推進に向けた人材育成

教職員の業務負担軽減と教育の質の向上を両立するため、**学校現場におけるDX推進の糸口となるワークショップを企画・提案**いたします。



2025年7月版

お問い合わせ先

富士通Japanお客様総合センター

0120-835-554 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:30
(土日祝日・富士通Japan指定の休業日を除く)

富士通Japan株式会社
〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)

